



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 石上浩一  
編集責任者 常盤達雄

No.1738

2011年

9月5日

国労加入を  
大胆に訴えよう

# 国労東京野球大会

## 八王子が2チームとも勝ち上がる

### 1・2回戦

第三九回国労東京委員長杯争奪野球大会の1・2回戦が八月四日に大井スポーツセンターで開催された。

今年も異常に暑い夏が続いているが、ちょうど前夜に若干の雨が降り、八月中旬のような猛暑日まではいかなかったのは幸いであった。

一〇時に全チームが整列し入場行進を行ない、開会式が始まった。石上委員長のあいさつがされ、昨年優勝の八王子チームから優勝旗が返還。坂本審判長から諸注意がされた。新幹線チームによる選手宣誓が行われ、開会式は終了した。



試合開始は一時の予定だったが、雲行きが若干怪しかったこともあり、一〇時半から順次試合が開始された。自動車・新橋

B(品川・電気連合)の試合では冒頭に稲荷副委員長による始球式がおこなわれた。優勝候補の一つ八王子Bチームは新橋A(新宿駅)と対戦。八王子チームは緑川選手が好投。二塁打を重ね、小刻みに加点し

圧勝した。

もう一つの優勝候補神奈川B(中原電車区)チームは大宮A(大宮工場)と対戦し、横井選手が好投する中で毎回得点を重ね、三回には田中選手の三塁打を起点に三点を



追加。四回も単打を重ねて四点を挙げ、最終回はリリーフの蒔沢選手が抑えきって完勝した。

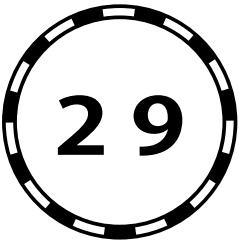
八王子Bは二回戦では神奈川A(東神奈川車掌区)と対戦。神奈川Aは二回裏に三塁打から始まり三点を挙げ先行したが、八王子Bは三回表に渡辺選手の二点タイムリ

などで一挙に七点を挙げ、四回表には佐藤新選手が本塁上でキャッチャーのタッチをかくぐりダメ押し点を挙げるなど突き放し、投手は緑川選手・松沢選手のリレーで抑えきって準決勝進出を決めた。

この日には九試合が行われ、八王子A・八王子Bがそろって準決勝に進出。神奈川Bも順当に勝ち上がり、もう一チームは、二回戦で大井工場を六回裏に逆転サヨナラで下した新幹線地本チームが勝ち上がった。

準決勝・決勝・三位決定戦は九月一日に行われる。八王子が三連覇するのか、阻止できるのか。いづれにしても熱い戦いを期待したい。

## 連載企画 分会紹介



## 宇都宮 車掌区 分会

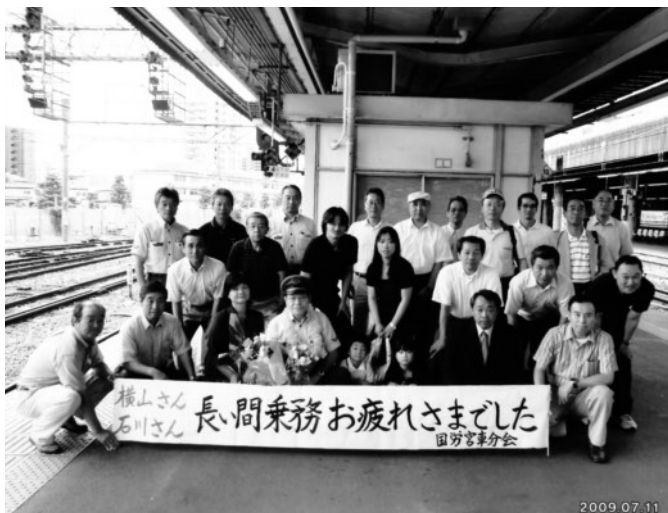
私たち宇都宮車掌区分会は、二二名を抱え、宇都宮支部管内でも大分会に属します。この間、国労に復帰加入していただいた組合員を迎え入れたことで分会活動にも活気が出てきました。三大行事である旗開き・花見・旅行にも組合員全体で行っています。

分会互助会も以前から他労組と一緒にやる特情もあり、名称も「国労互助会」として歴史と伝統ある活動を今でも引き継いで行っています。過日も定年を迎えた先輩を送り出しました。

分会大会の中でエルダー組合員(環境アクセス)三名を交え、仕事の悩み・労働条

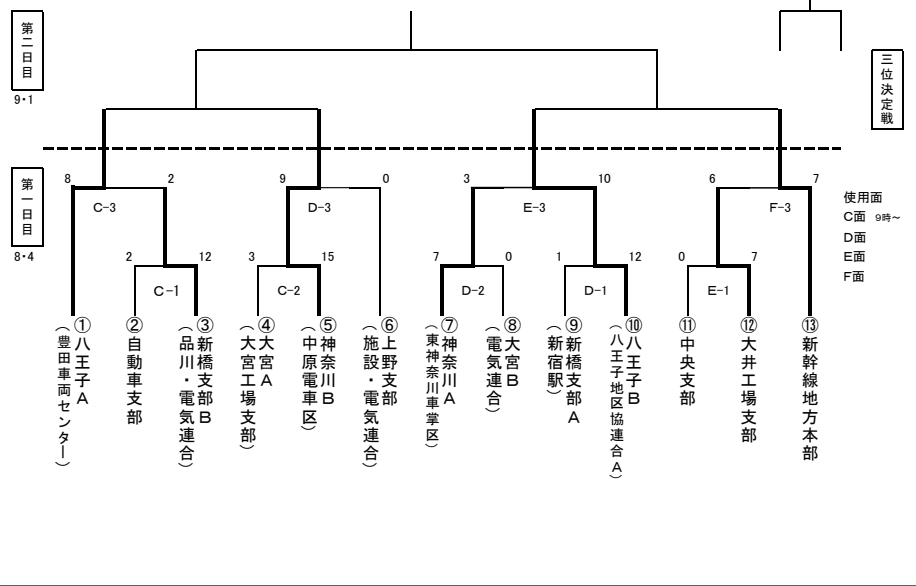
件など議論を行い、全体で確認しあった「分会発展のため組織強化・拡大に心をひとつにして団結しよう」という方針の基に、青年にも国労加入の取り組みの強化を図っています。また、職場の中心軸になろうということで会社施策にもしっかりと対峙する取り組みも紆余曲折しながら分会執行部が積極的かつ率先して取り組んでいます。

今後、運輸区化構想に向けた中で国労が主導権を握るためにも三車掌区(大宮車掌区・浦和車掌区)との交流も重要です。乗務員にとって、「寝る・食う・トイレ」は必須条件であり、しっかり検証して安全安定輸送に向け更なる改善も必要です。とり



わけ、優等列車乗務(東武相直)と分会活動強化に向け組合員全体で取り組んでいるところです。

第39回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会



# 大船保技七分會 亀有駅分會 加入歓迎会開く

## 大船保技七分會

七月に大船保技七分會で国労加入した今年度の新入社員である田村君の歓迎会が、八月二七日に保土ヶ谷駅前の中華料理店で開催された。

一八時に武藤修分會長のあいさつから始まり、来賓の東日本本部松井書記長から「東日本本部の課題は、若い人たちに負担が重い新人事賃金制度とGSの雇い止め問題。組織拡大を取り組んでいただくにあたって、自信を持って『国労に入れ』と言える運動を進めていきたい。また東京地本松川書記長からは「田村さんの加入まで仲間を支え、ここまでたどりついた大船保技七分會の皆様、分會を支えた地区本部・支部に感謝申し上げます。数ある組合の中から国労を選んでくれた。我々はその負託に応える責任がある。田村さんと一緒によりよい職場を作っていく。仲間を作っていく。それが我々の責務」などのあいさつがあったと、松川書記長から国労手帳と組合員証が贈られ、分會長の手により国労バッジが



田村君につけられた。地本松尾青年部長の乾杯の後、交流がしばらく続いた。その後、神奈川地区本部や大船支部、近隣の分會からの激励。工務協や分會の仲間からなど多くの方からの激励が続いた。

と、地本松尾青年部長から「加入させたら終わりではなくて、悩みなどあればぜひ聞いてあげて『お前が言えないんだっつたら俺が現場長に言ってるや』ぐらいの気持ちで分會の皆さんは持っていたらいい、青年部員を増やす取り組みにつなげていただきたい」などのあいさつがされた。

最後に田村君から「他労組から『みんな入っているから』と勧誘を受けたけど、自分で調べて決めたかった。研修同期の仲間から『よく無所属でいられるね?』と言われた。しかし『まだあまり職場には行っていないが、仕事ができるのは国労の人だよ』とも言われた。『出世できないよ』と信じたい話もあったが、自分らしくいられる場所に、自分で考えて入りたかった。不利な状況とは思っていません。横浜



支社は自由な選択肢を与えてくれた。まだ無所属の人に、自分で考えて入りなさい、と言いたい」などの加入を決めた気持ちの話され、最後に武藤分會長の団結がんばろうで、さらなる組織拡大を全体で誓い散会した。

## 亀有駅分會

「亀有駅分會国労加入歓迎会」が、八月一日に開催され、鈴木上野支部書記長の進行で和やかに進められた。

東日本本部からは高野委員長が激励に駆けつけ、地方本部からは松川書記長が七月に大船保線技で二三歳の新規採用者が加入、八月に斉藤さんが加入と、拡大が相次いでいる。困難があってもみんなの力で打開し、組織拡大につなげよう」と激励した。

また、分會の仲間からは「分會は微力だけど、斉藤さんをしっかりと支えたい」「斉藤さんの加入を契機に、社員の笑顔と職場の輪を作っていきたい」と喜び満面にあいさつ。激励を受けた斉藤さんは、「これからは国労組合員として頑張っていく」と力強く決意を語った。

鈴木書記長は「全国各地から激励を戴いている。この励ましの声に応えるためにも、今後も組織の強化・拡大にむけて全力をあげよう」と歓迎会を締めくくった。

## 闘争団全国連絡会

## 解散懇親会

JR不採用問題の終結を受け、八月二六日、国労闘争団全国連絡会議は総会を開き、解散した。

長い闘争の報告とお礼を兼ね、国労闘争団全国連絡会議解散懇親会が港区の東京グランドホテルで行われた。

冒頭、神宮議長から主催者あいさつがされ、長かった闘いの報告とお礼が述べられた。続いて石上国労本部委員長、中里国



の団結がんばろうで懇親会を締めくくった。

最後に闘争団を代表して闘争団全国連絡会議副議長の高見さんから「途中いろいろあったが、三六闘争団が固まりとなって終結を迎えたことを喜びたい。闘いの中で私たちが得たものは人と人の絆であった。今日は新たな人生の一步を踏み出す出発点です」などのお礼のあいさつがされた。続いて「国労闘争団全国連絡会議として最後の団結がんばろうです」と話しながら、全体の

# 第62回 地方大会

9/17・18

## 虎ノ門 発明会館

鉄闘争支援中央共闘会議議長、山下国鉄闘争に連帯する会事務局長、国労常任弁護団の宮里弁護士などから終結にあたって、これまでの取り組みのお礼がのべられた。

しばらく懇親のあと、懇親会の最後に闘争団の各ブロックからあいさつがされ、本州・四国ブロックを代表して東京闘争団原田団長からは「これからもレールから離れずに頑張っていきたい」などのあいさつが、九州ブロックの原さんからは「これまでに支えてもらった地域に貢献し、今後の人生を一步二歩と進んでいきたい」などのあいさつがされた。

## 「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン		入院給付金日額 10,000円の場合	保険期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~80歳
初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円	
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円	
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円	
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円	
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1ヵ月 10万円 乳がん・前立腺がんのホルモン療法の場合 (すべての保険期間を通算600万円まで) 1ヵ月 5万円	
プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)		

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き  
コールセンター **0120-5555-95**

【募集代理店】 **アベニール株式会社**  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F  
電話 **03-3437-6810** ファックス **03-3437-6822**

## 「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱) (2011年4月1日現在)  
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン  
入院給付金日額10,000円 定額タイプ  
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 **アベニール株式会社 東京営業所**  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内  
JR電話 **054-2548** ファックス **03-3806-9275**  
電話 **03-3806-9264**

◎詳しくは、パンフレット (契約概要) をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日